

対象地域	フランス リヨン (及びローヌアルプ州)	在リヨン出張駐在官事務所 リヨン日本人会治安情報収集チーム	
		作成日	対象期間
調査方法 新聞	Le Progrès 紙	2012年1月31日	2012年1月
集計情報の流布	未	在留邦人対象に各団体及び在リヨン出張駐在官事務所ルート	
調査項目:	① 邦人対象の治安情報 ② テロなどの一般治安情報 ③ 今月の出来事 ④ その他の情報		

報告要旨

1、邦人対象の治安情報

- A、 一般的傾向
- B、 地区別・犯罪集計結果：補足文書1
- C、 多発の手口と場所の特定、防止策：補足文書2

A、一般的傾向

今月は、タバコ屋やスーパーなどの小規模商店での強盗、次いで路上での個人に対する脅しや窃盗、暴力行為が多く見られました。商店経営者を狙った強盗では、宝石店経営者が、店舗ではなく仕事に向かう前に自宅で被害に遭うというケースが報告されています。路上での脅し、窃盗では、特に携帯電話を狙った犯行が多くなっています。

[補足文書1]

B、地区別 治安情報集計結果

地域別に見ると、リヨン東地区で特に犯行が多く見られました。次いでリヨン3区、リヨン北地域となっています。

2012年1月集計結果

	1区	2区	3区	4区	5区	6区	7区	8区	9区	リヨン東	リヨン西	リヨ南	リヨン北	アノ県	イゼール県	ロワール県	合計
殺人事件・凶悪事件										1							1
すり			1														1
空き巣・盗難		1		1		1				3	1		1	1			9
置き引き																	0
引ったくり						1							1				2
万引き																	0
強盗・暴力窃盗		2	3				2	1		11	2		1				22
窃盗(車・自転車)																	0
カー/ホームジャック						1			1	1							3
車内盗難			1							1							2
猥褻行為・強姦			2				1			1							4
いたづら電話・迷惑																	0
脅し・暴力行為	1				3	1				3	1			1			10
詐欺(カードなど)																	0
拉致・誘拐																	0
破損・放火							1		1	2		1					5
ストーカー																	0
麻薬取引・所持										2			2				4
飲酒/無免許運転								1	1			1	1			1	5
夫婦間暴力																	0
軽犯罪																	0
合計	1	3	7	1	3	4	4	2	3	25	4	2	6	2	0	1	68

備考欄： リヨン東→Meyzieu, Saint-Priest, Bron, Vénissieux, Villeurbanne, Saint-Fons
 リヨン西→Craponne, Chaponost, Francheville, Tassin, Brindas, Brignais, Ecully, Sainte-Foy-Les-Lyon
 リヨ南→Oullins, Pierre-Bénite, Saint-Genis-Laval, Givors, Vernaison
 リヨン北→Rillieux, Vaulx-en-Velin, Décines, Caluire, Genas

* 数字はプログレ紙に掲載された軽犯罪の記事の数で、統計的な意味はない。

[補足文書 2]

C, 多発の手口と場所の特定・防止策（新聞による報道記事から）

下記の犯罪に関する 2011 年のデータが示すように、暴力を伴う窃盗、恐喝が増えています。ターゲットは多くの場合が携帯電話です。

- ❖ インターネットで、中古車販売掲示板を通じて個人から中古車を買った女性が直後に売り手に買った車を盗まれるという事件があった。インターネットでの詐欺の犯行は、売る場合も買う場合も特に支払い方法に関するものだ。犯人は、個人や自動車販売業者から中古車を購入し、既に閉鎖されている口座の小切手帳を使って支払う。これらの車はその後インターネット経由で売りに出される。

一般規則として、ウエスタンユニオンを通じて海外から行われる支払いや現金支払いには注意すること。買い手の銀行が発行する銀行小切手では支払いが保証される。RIB (Relevé d'Identité Bancaire : 銀行口座証明書) を送る場合は売り手の身元をしつかり確認してからにすること。最後に、あまりにも好条件過ぎる物件には用心すること。
(プログレ紙 1 月 22 日)

- ❖ この 10 年間で、ローヌ県における全体的な犯罪発生率は 20% 減少。但し、警察官に対する暴力が増加している。具体的には、身近な犯罪が 40% 減少。事件解決率は 2002 年の 21.7% から 2011 年には 37% に上昇した。(プログレ紙 1 月 18 日)
- ❖ 2011 年のローヌ県での全体的な犯罪発生件数は 1 万 1428 件で、2010 年比で 1.45% 減少している。その一方で、住宅（セカンドハウスを除く）の空き巣の被害は、防犯対策にもかかわらず 18.9% 増加した（企業・商店の空き巣は 25.8% 減少）。また、暴力を伴う窃盗事件も、3674 件で 9.38% の上昇を見せている。そのうち 40% は携帯電話を狙った犯行。

新聞やテレビニュースなどでの報道から受ける印象に反して、武器を使った強盗・窃盗事件は 2010 年の 308 件から 2011 年は 216 件と、30% 減少している。

最後に、道路交通安全については、2011 年の死亡者数は 2010 年より 8 人少ない 67 人で、10.7% 減少となっている。但し、歩行者の死亡が昨年の 2 倍にのぼる。交通事故の主な原因は優先無視、スピード、飲酒となっている。(プログレ紙 1 月 20 日)

防犯カメラと馬の「インテリジェント」な治安措置

ローヌ県庁による 2011 年治安報告の折に、2012 年度に導入される予定の治安政策の一部が発表された。それによると、ローヌ県では、憲兵隊によるパトロールに騎馬部隊が採用される。一般市民に好印象を与える、騎馬憲兵隊の視線の高さによって、一戸建て住宅などの垣根から中が見えやすくなる（空き巣の確認等）、集団デモ行進などに混じって治安を乱す人物が目につきやすい、特に緑地など、パトロールカーでは侵入しにくい場所へのアクセスが容易になるなど、さまざまなメリットがある。

また、今年のもうひとつの措置として発表されたのが LAPI (Lecture automatisée de plaques d'immatriculation : ナンバープレート自動読取り) システムだ。この監視システムは、映像上での光学文字認識技術を施したもの。警察および憲兵隊が、この「インテリジェント」なカメラを搭載した車でパトロールを行う。警察力は、この LAPI システムを利用して盗難車を検出し、車盗難犯罪の低下を目指している。

一方、防犯カメラも、万能薬とは言えないまでもそれなりの効果を発揮している。リヨン都市圏では、防犯カメラのお陰で 100 件あまりの事件が解決された。また、犯行を抑止する効果も高い。こうして、17~20 の自治体が現在 350 台以上の防犯カメラを設置しており、自治体や運転業者（フランス国鉄、Sytal など）を対象に、設置支援を目的に国家から 53 万 5000 ユーロ相当の補助金支給も予定されている。

ローヌ県では、警察は毎年 39 万 9000 件の通報（17 番）を受ける。これは 1 日平均 1093 件に相当する。地域圏知事は、「市民は警察へ通報するものの、通報が遅いために警察側の対応が遅れる」と遺憾の意を述べている。事件の目撃者は迷わずすぐに警察に通報されたい。これにより、パトロールの効果がいっそう高まる。（プログレ紙 1 月 21 日）

① 強盗・脅し窃盗

- 1 月 12 日夜 11 時過ぎ、リヨン 7 区で、寿司の出前の注文を受けた配達人が架空の配達先住所に着いたところ、後ろから 1 人の男に脅され、現金 350 ユーロを奪い取られた。犯人は被害者のスクーターに乗って逃げた。（プログレ紙 1 月 13 日）
- 1 月 12 日夜 10 時頃、Vénissieux の商店で、店の奥で仕事をしていた経営者が覆面の男に催涙ガスを吹きかけられ、売上金を盗まれた。（プログレ紙 1 月 13 日）
- 1 月 13 日夜 7 時半頃、Caluire で、閉店間近のパン屋が強盗の被害に遭った。ピストルを持った覆面の男がいきなり店内に侵入し、売上金を奪って逃げた。（プログレ紙 1 月 14 日）
- 1 月 13 日午後 6 時過ぎ頃、Villeurbanne にある薬局に覆面の男が押し入り、薬剤師を脅した後、少額の売上金を奪って逃げた。（プログレ紙 1 月 15 日）
- 1 月 17 日午前 6 時 40 分頃、Toussieu のタバコ屋にナイフを持った覆面の男が押し入り、タバコや宝くじ、レジの現金を奪って逃げた。（プログレ紙 1 月 18 日）
- 1 月 17 日午前 11 時半頃、Saint-Priest にある宝石店に 2 人組の強盗が押し入り、武器で脅してショーケースにあった宝石類を盗むと車で逃走した。通報を受けた警察官らの追跡の結果、間もなく 2 人組は見つかり、逮捕された。（プログレ紙 1 月 18 日）
- Bron でタバコ屋を経営する 25 歳の男性が、朝自宅から仕事に出かけようとしていたところへ武器を持った 2 人組による押し入り強盗の被害に遭い、金庫にあったタバコ屋の売上金を奪われた。（プログレ紙 1 月 19 日）
- 1 月 18 日夜 6 時半頃、Sainte-Foy-lès-Lyon のスーパーに武器を持った強盗が押し入り、レジの売上金 200 ユーロを奪って逃げた。（プログレ紙 1 月 19 日）
- 1 月 17 日夜中、リヨン 7 区のピザ屋にピストルを持った男が押し入り、レジの現金を奪って逃げた。（プログレ紙 1 月 19 日）
- 1 月 28 日夜 11 時半頃、Villeurbanne で、ナイフを持った男がピザ屋に押し入り、レジの売上金を奪って逃げた。（プログレ紙 1 月 29 日）

② 暴力・窃盗事件

- 1 月 3 日夜 9 時半頃、リヨン 2 区で、電話をしていた若い女性が若者に携帯電話をひたたくられそうになった。女性が抵抗したため、男は女性の手を噛み付き、携帯を奪って逃げた。（プログレ紙 1 月 5 日）
- 1 月 10 日午後、Vaulx-en-Velin で、通りを歩いていた女性が若い男にかばんをひたたくられた。男はそのまま走って逃げた。（プログレ紙 1 月 12 日）
- 1 月 15 日、リヨン 2 区で、25 歳の女性が若い男に携帯電話をひたたくられそうになった。犯人に押された被害者は地面に倒れ、軽い怪我を負った。（プログレ紙 1 月 17 日）
- 1 月 21 日午前 3 時頃、リヨン 3 区で、通りを歩いていた女子 2 人と男子 3 人の若者グループが、3 人組の男らとすれ違い、暴力・窃盗の被害に遭った。特にグループのうちの 18 歳の男子が目をつけられ、まずライター、次に現金、最後に携帯電話を要求された。断られると、1 人の男がグループの残り 4 人を相手にしている間に 2 人の男が男子に暴力を振るった。若者グループの叫び声を通りがかりのパトロール隊が聞きつけ、3 人組を追いかけて逮捕に至った。（プログレ紙）

③ 脅し・暴力

- 12 月 31 日深夜、Villeurbanne で、48 歳の男が通行人 3 人をナイフで脅してタバコを要求した。男は間もなく逮捕された。（プログレ紙 1 月 2 日）
- 1 月 1 日午後 3 時 15 分頃、ジュネーブ発リヨン行きの地方急行列車（TER）で、1 人の男が乗客らを恐喝してタバコを要求した。男が次第に乱暴になってきたため数人の乗客が抗

議して殴り合いになり、乗客 1 人が怪我を負った。男はその後列車から降り、歩いているところを憲兵隊に逮捕された。この 30 歳代の男は精神病患者と見られる。(プログレ紙 1 月 2 日)

- 1 月 6 日深夜、リヨン 5 区で、若いカップルと 2 人組の若者の間で喧嘩になり、2 人組が女性を地面に投げ倒し男性に殴る蹴るなどの暴力を振るった。2 人組は間もなく逮捕された。(プログレ紙 1 月 10 日)
- 1 月 28 日深夜、リヨン 5 区の Maréchal Juin 橋の近くで、カップルの 4 人組が車に乗った 4 人の若者から暴言を浴び、若者らが車から降りてきて喧嘩になった。若者のうち 1 人が車に戻り、カップルの 20 歳の男性めがけて車をぶつけ、もう 1 人の男性にも車をぶつけて倒れたところを上からひいた。その後、若者 4 人は車で逃げたが、ナンバープレートから容疑者の身元が判明し、警察に逮捕された。被害者の男性は至急病院に運ばれたが、重傷を負っており意識不明。(プログレ紙 1 月 30 日)

④ 空き巣、盗難

- 1 月 10 日午前 5 時頃、リヨン 6 区で、覆面の数人組がブティックのドアをこじ開けて中に侵入し、衣類を盗んで店の前に止めてあった車に積み込んだ。警察が駆けつけると 1 人が消火器を掴んで警察の車に吹きかけ、共犯者とともに車で逃走した。(プログレ紙 1 月 11 日)

⑤ カージャック・ホームジャック

- 1 月 4 日午後 5 時頃、Genas でカージャック事件。会社の前で息子を待っていた男性がピストルを持った 1 人の男に脅された。別の 2 人の男が車から降りてきて男性を脅し、男性の車を奪うと 2 台の車で逃走した。(プログレ紙 1 月 5 日)
- 1 月 6 日夕方 6 時前頃、リヨン 9 区でブリュッセルに住む男性がカージャックの被害に遭った。男性は、路上に車を駐車しようとしていたところ、覆面の 2 人組にピストルとナイフで脅され、車から降ろされて車を盗まれた。(プログレ紙 1 月 10 日)

2.テロなどに関する一般治安情報

特になし。

3. 在留邦人の被害事例

ローヌ＝アルプ州における被害報告は特になし。(在リヨン出張駐在官事務所ソース)

4. 今月の出来事

今日(1月14日)の午後、リヨン中心街で、治安維持のための機動隊の厳重な監視の下、極右のデモ行進と左派による反対デモ行進が行われる予定だ。ローヌ県庁では、ソーヌ河の一部の橋を閉鎖することを決定。冬期バーゲン開始の最初の土曜日に、リヨン・プレスキル地区が麻痺状態に陥ることが懸念される。警察および憲兵隊による機動隊員 350 名が配置される予定。(プログレ紙 1 月 14 日)

5. その他の情報

2011 年 12 月 31 日の夜、リヨン首都圏では、毎年大晦日に見られる路上の車の放火防止や金融機関と比べて警備の弱い小規模商店の監視を含める治安体制が敷かれた。特に大晦日の夜 9 時から 1 月 1 日元旦の朝 9 時までの重点的な監視体制により、警察力の 70%に相当する 650 人が 24 時間態勢で任務に当たった。通常の土曜日は 220 人から 250 人が監視に当たる。特にリヨン市内のプレスキルが優先されたが、リヨン旧市街、ローヌ河岸(リヨン 3 区、6 区)、デュシェール(Duchère)地区、昨年大晦日に車放火が発生したリヨン 7 区と 8 区、及びリヨン郊外も重点的な監視の対象となった。リヨン音楽祭(フェット・ドウ・ラ・ミュージッ

ク) や7月14日の革命記念日とほぼ同レベルの監視体制を推進するにあたって、リヨン市(防犯カメラ)、憲兵隊、消防士との連携による特別作戦センターが設置され、公共交通機関における巡察が行われた。(プログレ紙1月1日)

昨年12月に、「スキミング」(キャッシュカードに登録されている磁気情報を読み取ることのできる小型装置をATMに取り付け、偽造カードなどを作成して不正利用すること)の手口を使ってリヨン8区にあるクレディ・アグリコル銀行のATMに小型装置を取り付けようとしていたブルガリア国籍の3人組が警察に逮捕された。11月初めに同様の手口による犯行の被害が届け出られており、10人ほどの被害者の口座から不正な現金引き出しが確認されていた。防犯カメラの視聴と見張りのお陰で今回の逮捕に至った。容疑者らが泊まっていたホテルの客室からは、スキマー(スキミングを行うための小型装置)20機、偽のキーボード、ラップトップコンピュータ及びその他の工具が発見された。(プログレ紙1月5日)

● ロワール県サンテチエンヌ市地域情報(同市邦人組織の提供)

調査方法: 新聞 Le Progrès 紙 サンテチエンヌ版

2012年1月集計結果

	サンテチエンヌ市地域	予備
殺人事件・凶悪事件		
すり		
空き巣・盗難	5	
置き引き		
引ったくり		
万引き		
強盗・暴力窃盗	4	
窃盗(車・自転車)	3	
カー/ホームジャック		
車内盗難	2	
猥褻行為・強姦		
いたづら電話・迷惑		
脅し・暴力行為	3	
詐欺(カードなど)	1	
拉致、誘拐		
破損・放火		
ストーカー		
麻薬取引・所持	1	
飲酒/無免許運転	7	
夫婦間暴力		
軽犯罪	2	
合計	28	

* 数字はプログレ紙に掲載された犯罪の記事の数。

① 邦人対象の治安情報

1. 空き巣・盗難

企業の倉庫からの金属類の盗難が発生。(Le Progrès 紙 サンテチエンヌ版)

2. 脅し・暴力行為

サンテチエンヌ駅周辺で22歳の男性が3人組の未成年少年に襲われ、怪我をした。(Le Progrès 紙 サンテチエンヌ版)

② テロなどの一般治安情報

特になし。

③ 今月の出来事

特になし

④ その他の情報

ロワール県(県庁所在地:サンテチエンヌ市)の2011年の犯罪総計は2010年と比べて-5%。主な内訳:空き巣・盗難(+18%)、麻薬取引・所持(+24%)、窃盗(車・自転車)(-2,8%)、猥褻行為・強姦(+4,9%)、脅し・暴力行為(+20%)、詐欺(カードなど)(+14%)。

なお、犯罪の検挙率は+1,96%。(Le Progrès 紙 サンテチエンヌ版)

● イゼール県グルノーブル市地域情報(同市日本人会の提供)

調査方法 : Dauphiné Libéré紙からの情報

1、グルノーブルで特に治安に問題のある Villeneuve から市の中心街近くまでほとんど毎日のように車に放火される事件が相次ぐ。特に集中する大晦日だが、例年通りで、それ以上の悪化はなかった。

2、空き巣に関しては、バルコニーのあるアパートに登山装具をつけて登ってきて侵入するというケースが数件あり、地上3階くらいまでは油断できない。